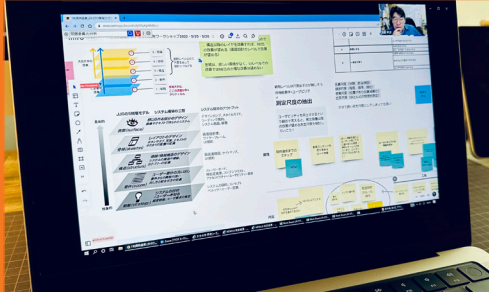
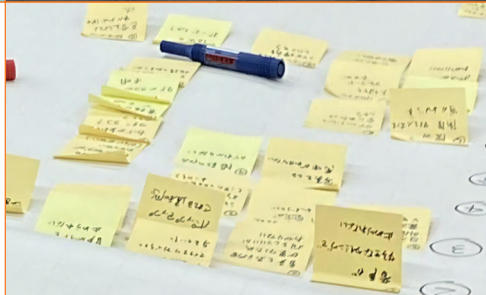




2022 Annual Report

Human
Centered
Design
Organization



アニュアルレポート2022 2022年度 (2022年4月1日～2023年3月31日)

特定非営利活動法人
人間中心設計推進機構



目次

理事長からの挨拶：HCD-Netのミッション・中期目標からの方針について	1
広報社会化事業領域	3
教育事業領域	4
ビジネス支援事業領域	5
研究事業領域	6
関西支部／東海支部	7
HCD専門資格認定センター	8
HCD倫理規定検討ワーキンググループ／ウェブワーキンググループ	9
イベント一覧	10
ピックアップイベント	12
決算報告 2022年度 活動計算書	13
2022年度 計算書類の注記	14
2022年度 貸借対照表	15
2022年度 財産目録	16
組織図／正会員数推移	17
機構役員一覧／賛助会員一覧	18

本アニュアルレポートに記載の人物名はすべて敬称略としています。
また、会社名、各製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

理事長からの挨拶： HCD-Netのミッション・中期目標からの方針について

HCD-Netのミッション

人間中心設計推進機構(以下、HCD-Net)は、2005年に設立された「HCD:Human Centered Design:人間中心設計/人間中心デザイン(以下、HCD)」のあり方を追求する特定非営利活動法人(NPO 法人)です。当初は、モノづくりにおけるユーザビリティを追求する専門家たちの集まるコミュニティとしてスタートしましたが、近年ではサービスづくりやコトづくりに関わる多様な分野において、仕事の進め方や組織・企業のあり方といった広範な領域にわたって活動が拡大しています。

HCD-Netでは、設立当初から「HCDに関する学際的な知識・経験を集め、産学を超えた人間尊重の英知を束ね、HCDを導入し、活用するために必要なさまざまな知識や方法を適切に提供する」としたミッションを掲げています。そのミッションの実現を目指して3つのスローガン「多くの人々が便利に快適に暮らせる社会づくりへの貢献」、「経済の発展への寄与」、「豊かでストレスのない実りある社会の実現」を策定しています。

これらのミッションとスローガンに基づいて活動をする中、私たちへの大きな期待も寄せられています。あらゆる企業や団体、行政・自治体において身につけるべきスキルとマインドセットとして、HCDを学ぶケースが増えてきているのです。近い将来には、HCDがあらゆる組織活動における必須要素となり、全社員・全職員教育の中核に位置付けられるに違いありません。

HCD-Netの新旧の中期目標について

2022年度は、2020年度からの3か年にわたる中期目標(2020-2022)の最終年度として活動を行ってきました。中期目標に掲げた目標は次の5つです。

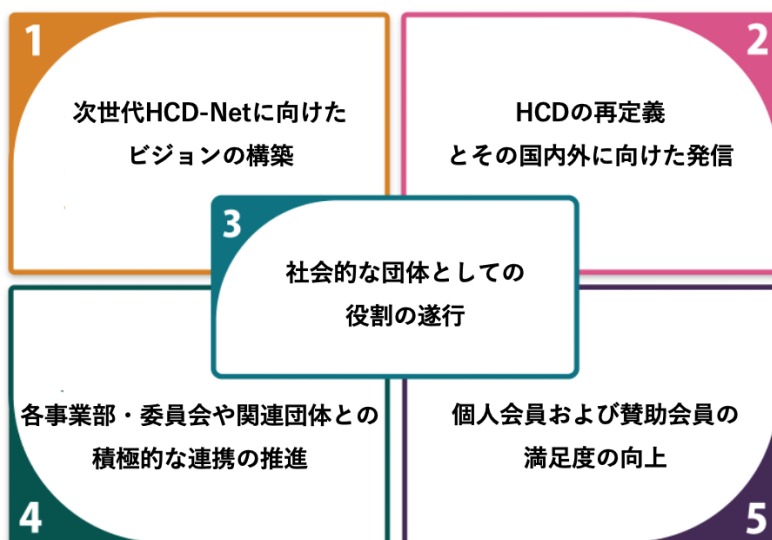
1. 「HCDを活用すべき人達・コミュニティとの連携」に向けた関連分野から注目の集まるコミュニティ形成
2. 各種業界や各種組織における「HCD専門職」としての地位の確立
3. 個人会員および賛助会員の満足度の向上
4. 機構組織運営の一層の透明化と永続的な活動に向けた基盤づくり
5. 事業および運営のメンバー・スタッフの補強と育成

これらの目標の振り返りを実施した上で、2023年度は、新たな中期目標(2023-2025)を設定した活動を開始します。新たな中期目標は次の5つです。

1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築
2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信
3. 社会的な団体としての役割の遂行
4. 各事業部&委員会や関連団体との積極的な連携の推進
5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上

この5つの目標について、具体的にご紹介します。

これらを設定する過程では、副理事長から構成される理事長懇談会や本団体の意志決定機関である理事会での議論が行われました。また、HCD-Netの多岐にわたる活動を支える評議委員の皆さんとの意見交換会なども実施しました。同時に中期目標(2023-2025)の期間中に「HCD-Net創設20年」の節目を迎えるに際し、当団体が現在の「社会に置かれる立場」を十分に意識した上で、「未来を見据えること」と「基盤を整えること」を検討しています。



中期目標 (2023-2025)

「社会に置かれる立場」について

● 3. 社会的な団体としての役割の遂行

「3. 社会的な団体としての役割の遂行」として、目標群の中核に据えました。この目標では、主に以下の3つの観点から活動に取り組みます。

- ・ 当団体自らが社会的な団体としての使命を果たすべく「コンプライアンス規定の明言化と発信」と、2022年度までに着手してきた「倫理綱領の確立と発信」を実施
- ・ 知識やノウハウに関わる団体としての「団体の各種コンテンツなどの知財や著作権の扱いに関する整備」
- ・ 「社会や市場に向けたHCD認定専門家事業の継続と発展」

「未来を見据えること」について

「1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築」と「2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信」を位置付けました。これらの目標では2023年度より新たな活動を開始していくことになります。

● 1. 次世代HCD-Netに向けたビジョンの構築

HCD-Netの次世代に向けた活動開始の宣言です。具体的には、設立当初からのHCD-Net関係者やこれまでに関わりのあった団体の皆さんからのヒアリングを通じて、団体への期待やあるべき姿を確認し、未来のビジョンのためのさまざまな検討や議論を開始します。加えてビジネスと研究の両面を兼ね備えた団体として「実践型の研究団体(日本学会議への登録を含む)」の立場を強化します。さらには、次世代HCD-Netを支える体制を強固にするために、HCD-Netの各役割や選定基準を明確にしていきます。

● 2. HCDの再定義とその国内外に向けた発信

設立時に定義された「HCD」が、ISOやJISといった規格に発展したことや、UXデザイン・利用時品質・デザイン思考・サービスデザイン・共創デザインなどへの拡大を受けて、新しいHCDを定義するのが急務の課題です。同時に、HCD-Netでの活動が母体となって2022年度に設立された「HCD基礎知識の検定事業」を担う団体「一般社団法人 人間中心社会共創機構(HCS共創機構)」との協働も重要な活動です。そのため、新たにHCDの定義(HCD知識体系)を確立した上で、国内外に向けて正しく発信していくことも私たちの責務です。

「基盤を整えること」について

「4. 各事業部&委員会や関連団体との積極的な連携の推進」と「5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上」があります。

● 4. 各事業部&委員会や関連団体との積極的な連携の推進

2022年度には会員規模が1,000名を超える大規模な団体として成長する中で、各事業部や委員会の活動を持続的に推進し、より一層の連携を図ることが重要になってきました。そこで、各事業部や各委員会における共通目標を設定するなどして、HCD-Net内での諸活動の協業を進めます。さらにHCD認定専門家制度の安定運営と同時に、先の社団法人(HCS共創機構)が推進するHCD基礎検定(HCD検)との連携も重要なテーマです。「HCD検」は、専門家やデザイナーではないゼネラリストの方々に対するHCDの啓発を目的としています。HCD-Netの専門家たちは、その啓発に際しての指導役や指図役を担うと同時に、1人でも多くの専門家への育成へと繋げていく役割があると言えるでしょう。

● 5. 個人会員および賛助会員の満足度の向上

この目標は、従来の中期目標においても中核に据えてきたHCD-Netにとって重要な目標となります。この目標を再び掲げることによって、私たちが常に意識すべき事柄を再確認し続けたいと考えています。ここでは「HCD正会員・学生会員の増員と会員メリットの強化策への検討と実施」、「HCD賛助会員の増員と賛助会員メリットの強化策への検討と実施」、「会員からの多様なニーズに応えられるような団体運営のための事務局体制の維持と強化」を具体的に宣言しました。会員の皆さまあってHCD-Netの諸活動が成り立っている点を自覚し、社会貢献に向けて皆さまとともに歩んで参ります。

以上のような5つの目標からなる新たな年度が始まりました。どうか本機構の主旨や諸活動に対するご理解と叱咤激励を頂戴すると同時に、より多くの皆さまのこれまで以上の積極的なご参加を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

広報社会化事業領域

広報社会化事業部は、HCD-Netフォーラム実行委員会、HCD-Net AWARD 実行委員会を含む組織として活動しています。今年度は、HCD-Net AWARDに関連するイベントと、HCD-Netフォーラムについて報告いたします。

2022年度の活動

● HCD-Netフォーラム

HCD-Netフォーラム2022は、「未来の関係性づくり - ニューネイバーフッド -」と題して、12月2日、3日の2日間にわたって(オンライン配信あり)開催されました。昨年度と同様に、機構外への発信、コラボレーションを主眼として、広報活動にも力を入れました。多くの人が社会やコミュニティに参画する機会を持つこれからの時代には、より一層の「隣人を知る・理解する力」が必要になってきたと強く感じる場となりました。

※: 詳細は、『HCD-Netフォーラム2022開催レポート』をご覧ください
<https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1972.html>

● HCD-Net AWARD 関連イベント

2021年度の応募状況から判断し、2022年度は表彰イベントの開催を見送ることにしました。その一方で、AWARDへの応募を促進するためのイベント「みんなでHCDについて話そう! HCDに関することならなんでもOK!」をオンラインで実施しました。

【イベントコンセプト】

「HCDについて考えていること・取り組んでいること・相談したいこと」を語り合う場として、HCD活用事例やアクティビティを発表し、意見・感想等を求める機会とし、アクティビティのブラッシュアップ、いずれはアワードへの応募へと繋げるきっかけとしていただくことを念頭に置きました。

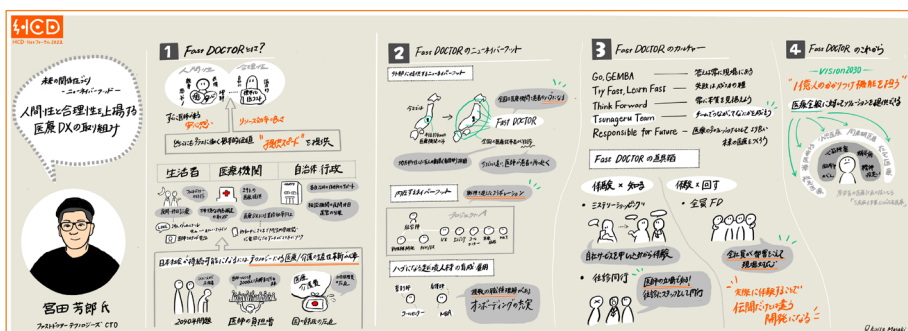
【開催状況】

12月7日(金)に開催し、6名のプレゼンターに、自分たちのHCDアクティビティについて、活用法、苦労話、そこから学んだ気づき・工夫などをお話いただきました。

今後も、年に数回、このような趣旨のイベントを開催していく予定です。



HCD-Netフォーラム2022 オープニングセッション



HCD-Netフォーラム2022 グラフィックレコーディング



This graphic recording note by KAISE Masaki is licensed under CC BY-NC-ND 4.0



教育事業領域

教育事業部のミッションはHCD/UXDに関する知見の体系化、およびその教育を受ける機会を提供することです。ある程度まとまった知識・学び方などを伝えるセミナーを企画・運営しています。また、学び合う仕組みを試行しています。

2022年度の活動

● 学びをつなぐ

2022年度もUXデザイン連続セミナーを実施しました。本年もチューターは教育事業部メンバーに加えて、過去のセミナー受講者に担当していただきました。

・「UXデザイン連続セミナー(全6回)」井登友一

「エキスパートレビュー」のセミナーでは、資料作成ワーキンググループを立ち上げ、有志メンバーにて「JIS Z8520 インタラクションの原則」を学ぶための事例収集、および資料作成を担当しました。WGメンバーは演習のテーブルファシリテーターとしても協力いただきました。

・「エキスパートレビュー ～ユーザビリティの専門知識に基づく評価を学ぶ～」伊藤泰久

また、賛助会員企業に運営スタッフや演習の機材提供などを協力いただいた協賛セミナーを開催しました。

・「HCD - 人間中心設計」入門」河野泉

・「現場でできるユーザビリティテスト入門」下郷雅子

● 学び合う

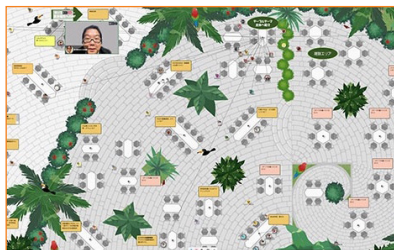
6月には、オンラインツールoViceを使った交流イベントを実施しました。テーマ別のテーブルで活発に対話がなされていました。

・「ワイワイしましょう！ 人間中心設計の専門家・スペシャリストや会員とのオンライン交流会 ～HCD-Net新歓」

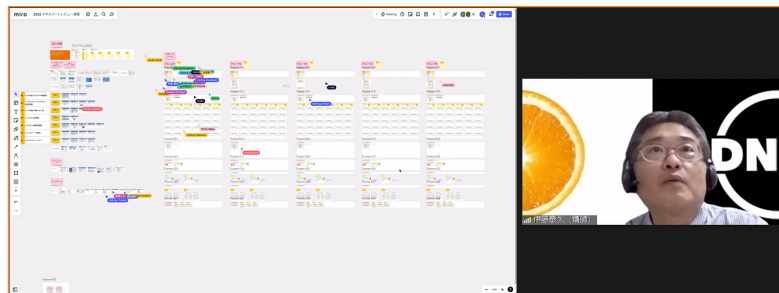
2月には、UXデザイン連続セミナー参加者が学びを振り返る会を開催しました。

・「UXデザイン連続セミナー座談会」

このほか、いろいろな方々にご登壇いただいて、知識や経験を分かち合うセミナーを開催しました。



HCD-Net 新歓 (oVice 会場)



エキスパートレビュー 演習編



現場でできるユーザビリティテスト入門

ビジネス支援事業領域

ビジネス支援事業部はHCD 専門家のスキルを発揮できる環境づくりおよび、HCD 関連ツールの開発・提供を目的に以下の運営委員会と5つの専門委員会・ワーキンググループで活動しています。

2022年度の活動

● ビジネス支援事業部運営委員会

EdgeTech+2022スペシャルセッションでは、HCD 領域のマネジメントに関する4つの連携講演を実施しました。また、産業界向けのシンポジウムとして「HCD ビジネスシンポジウム2023「HCD マネジメント」～デザイン経営が創るデジタル時代の企業価値～」を開催し、DX先進企業のデジタル/デザインマネジメントやDX実現におけるHCD マネジメント等の話題をお伝えしました。

● HCD マインドセット醸成委員会

HCD-OS 共創プロジェクトの活動を通じて、ユーザビリティ、UXデザイン、新価値創造を目指す新事業立ち上げを検討し、学習する組織・仕事習慣の獲得を重視した活動を展開しました。また、三菱総研 DCS 様とUI/UXの人間中心デザイン支援についての協議を継続しています。

● HCD 導入パターンワーキンググループ(中間層&現場向け支援委員会)

HCD の組織導入で起こりがちな問題と解法のパターン化(可視化)を試みています。2022年度は、パターンと HCD 組織成熟度との関連付けを行い、オープンレビューで23のパターンを公開しました。

● 自動運転社会における HAI(Human AI Interaction)検討委員会

第1期中期計画(2019年4月～2022年3月)で【AI/デジタル技術】と【人】の関係に関する研究活動を展開してきました。この3年間の活動成果報告の場として、1月には新春イベント「DX(デジタル時代)におけるHAIを考える～自動運転社会におけるHAI検討委員会 成果報告～」を開催しました。また、本委員会における研究活動の派生活動として、「自動運転“地域DX”コンソーシアム」の企画検討を進めています。

● 「利用時品質」普及委員会

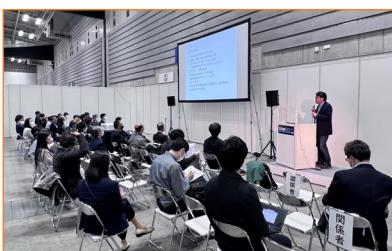
ワークショップ「DXを適切に実装するためのUIデザイン評価」では、大学のWebサイトを題材にUIデザイン評価、改善案の検討を行いました。JIS Z 8520「インタラクションの原則」、JIS Z 8522「情報提示の原則」の発行記念セミナーでは、ユーザビリティ評価に活用できる最新JIS規格を解説しました。利用時品質談話会「感性を測る」では、利用時品質の定量化に関する話題を提供しました。出版記念イベント「事例で学ぶ人を扱う工学研究の倫理」では、HCD実践者が調査・評価を計画する際に配慮すべき点を解説しました。東海大学辛島研究室のゼミでは、特急券購入サイトを題材にユーザビリティ評価から問題点を発見し、改善案のプロトタイプを作成して再評価するまでのHCD活動における反復の流れをゼミ生に体験してもらいました。

● HCSA(Human Centered System Architecture)委員会

茨城県境町やみなとみらい地区のMaaSビジネスを題材としたHCSAの議論の場拡大の計画を継続しながら、海外で開発されているツールの概観整理も含めた、デジタルソリューションについての議論を開始し、ワークショップへの展開も検討しています。



「利用時品質」メトリクス開発ワークショップ



EdgeTech+2022



HCD ビジネスシンポジウム2023



研究事業領域

研究事業部のミッションは、人間中心設計に関する研究活動の活性化を図ることです。具体的には研究成果を発表する場として、研究発表会を年2回開催するとともに、機構誌を発行しています。また、機構誌に掲載する研究論文の査読プロセスを担う編集委員会を運営しています。さらに、研究活動の場としてSIGをサポートしています。

2022年度の活動

● HCD 研究発表会

春季(6月4日)、冬季(11月26日)ともに、中央大学 iTL の会場および Zoom を用いたハイブリッド・イベントとして開催されました。

【春季】

19件の口頭発表がありました。

・優秀講演賞:「企業実践者の研究活動への参画促進に向けた取り組みと提言」(西村歩/株式会社 MIMIGURI・東京大学大学院情報学環ら)

【冬季】

口頭発表とポスター発表、それぞれ12件の発表がありました。ポスター発表では会場の盛り上がりオンライン上でも伝えるために、中継レポートなどの工夫を加えました。

・優秀講演賞:「視覚に障がいのある有権者の投票プロセスに関する研究」(村岡詩織・平井康之/九州大学大学院)

・優秀ポスター賞:「デザインを学ぶ学生の倫理意識向上～エシカルデザインの事例を参考に～」(木南俊樹・吉武良治/芝浦工業大学)、「バス停を利用した社会人防災コミュニティの形成検討ー日本橋浜長を事例としてー」(安達澄/武蔵野美術大学ら)

● 機構誌を発行

機構誌を2号(18巻1号、19巻1号)発行し、それぞれ4編、7編の査読付き論文を掲載しました。

● SIG 活動

2つのSIGが設置されています。SF映画SIGは休止中です。社会基盤SIGは、社会のさまざまなインフラとHCDをつなぐ事業や研究に取り組むメンバーが交流を続けています。



2022年度春季研究発表会の様子



2022年度冬季研究発表会で盛況だったポスターセッション

関西支部

2013年1月25日の設立以来、関西を始めとする首都圏以外の地域において、HCDの実践を促進することを目的にセミナーやワークショップを企画・主催しています。知識や技術を体系的に学べる【階段型】、多様な実践への道筋を学べる【登山型】、それぞれの学びの場を提供していきたいと考えています。そして、皆さまの取り組みを【発表する場】を設け、さらなる学びが得られるようにしていきたいと思っています。また、将来を見据えて【子供向け】のイベントも継続して開催していきます。

2022年度の活動

● イベント開催

コロナ禍が続きますが、十分な感染対策を実施した上で対面のイベントも徐々に開催できるようになりました。発表に対するディスカッションは、やはり対面開催のほうが盛り上がります。参加者の皆さんからも「これを待っていた!」とのコメントを多くいただきました。学び多き日常を取り戻していきましょう。

【階段型】

- ・合宿形式で学ぶ、写真KJ法ワークショップ
- ・“教科書”の著者が答える!「ユーザーインタビュー」のもやもやなんでも相談会

【登山型】

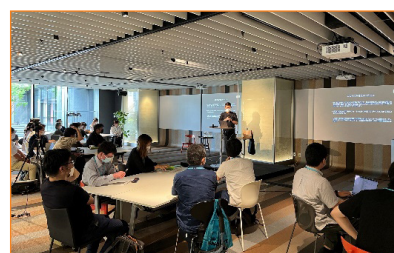
- ・様々な職業の人と語る会 第10回:アートプロデューサー
- ・HCD-Net関西フォーラム2022「HCD再考:製品・サービスの改善から経験価値創出へ。そして、企業の経験価値向上へ。」

【発表する場】

- ・HCD「事例発表会」+ Future Experience(FX)フォーラム「ビジョンとクオリティ」

【子供向け】

- ・子供の『発想力』を鍛えるデザインワークショップ!~星空冒険だいさくせんー宇宙飛行士になろう!~
- ・子供の『発想力』を鍛えるデザインワークショップ!~お家へ導け!ぴよんぴよん大作戦~



HCD-Net関西フォーラム2022



HCD「事例発表会」



子供の『発想力』を鍛えるデザインワークショップ!

東海支部

東海支部は2020年4月に関西支部に続く2つ目の地方支部として設立され、2年間は教育事業部の傘下で活動してきました。設立と同時期にコロナ禍となってしまったため、オンラインでのイベントを数回開催し、2022年から独立運営となりました。東海支部の活動メンバーは、東海支部設立前も教育事業部のメンバーとして、名古屋を中心にHCDの基礎的な知識や実践的な学びを提供するセミナーを企画・主催してきた実績があります。

2022年度の活動

2022年は対外イベントを開催することはできませんでしたが、支部のメンバー間の交流を図るため対面での会合を2回実施しました。

● 今後の活動

東海地区のニーズに合ったイベントの実施や活動メンバー、参加者とともにHCDの実践情報の共有を活発に行っていく予定です。また対面でのイベントも徐々に復活させていきたいと考えています。

✓ HCD 専門資格認定センター

HCD 専門資格認定センターは、「人間中心設計専門家」と「人間中心設計スペシャリスト」の資格制度を運営しています。資格制度が始まって14年を迎えました。過去の認定者は合計で約1900名（2023年4月実績）となります。

【専門資格 概要】

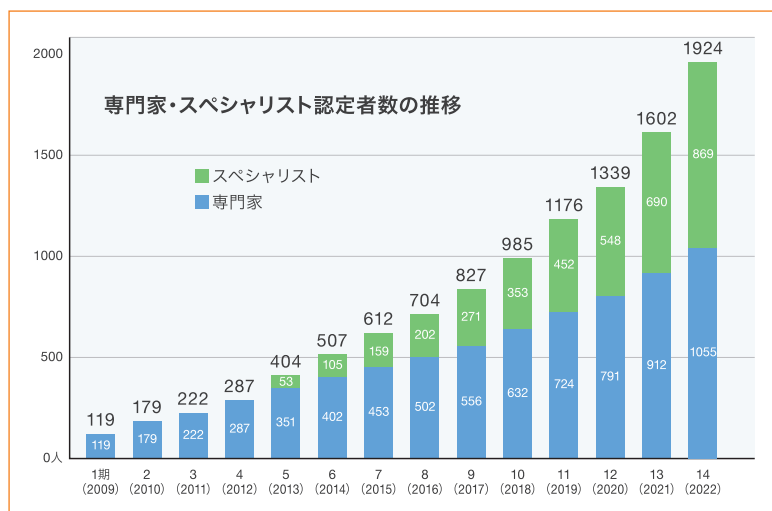
- ・実績にもとづく試験のため、スキルを客観的に証明できます。
- ・受験者にとっては、企業内で評価されやすい資格となります。
- ・企業にとっては、人材のスキルについて、第三者の客観的な保証を得ることができます。

2022年度の活動

2022年度については「人間中心設計専門家」は「第14期」、「人間中心設計スペシャリスト」は「第10期」の認定試験を行いました。受験者数は年により若干の変動はあるものの伸長傾向を続けており、UXデザインやHCD分野において有用性のある資格としての存在感を確立しています。

また、受験についてカジュアルに相談できるイベントを多く設けることで、応募者の増加が顕著になっています。同時に当センターでは、受験に必要な申請書類の改善、説明会資料の大きな改訂といった施策を進めています。

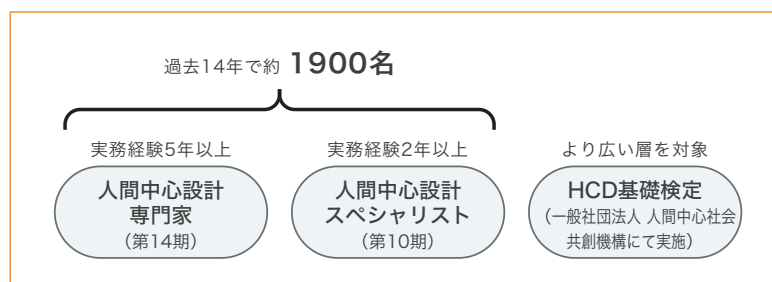
認定者の増加傾向としては、ここ数年「人間中心設計スペシャリスト」が増加しています。UXデザインやHCD分野のベテランだけでなく、若手にも認知される資格になっています。



認定者数の推移

当センター内の「基礎知識検討ワーキンググループ」では、実務経験を求められる「人間中心設計専門家」と「人間中心設計スペシャリスト」に対して、未経験者や学生などより広い層の認定を目指した新制度を検討し、2022年度より「HCD基礎検定」の発足に至りました。

「HCD基礎検定」は、多数の受験者など運用が大規模になることが見込まれるため、既存のHCD-Net体制だけでは受け止めきれないと判断し、関連団体として「一般社団法人 人間中心社会共創機構（略称 HCS共創機構）」を設立して運用に専念する体制としました。



3つの制度

HCD 倫理規定検討ワーキンググループ

HCD 倫理規定検討ワーキンググループでは、2022年4月1日に「Human Centered Design(HCD) 専門家 倫理規範 第1版」を公開しました。

- ・HCD専門家 倫理規範 第1版 公開
<https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1879.html>

これを受けて、HCD-Net 2022年総会: 基調パネルディスカッションを開催。以下4名の実務家が登壇しました。
 ・HCDと倫理 パネルディスカッション ～事業会社の立場から考える～ | HCD-Net2022年度通常総会&特別講演会開催のお知らせ

- <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1874.html>
- 鹿毛雄一郎(株式会社リクルート Division Officer)
 - 久保隅綾(株式会社メルカリ シニアUXリサーチャー)
 - 伊原力也(株式会社 freee UXデザイナー)
 - 長谷川敦士(HCD-Net 副理事長、株式会社コンセント 代表取締役社長)

また、世界に先駆けた活動であることを意識し、国際会議での発表と、英語版の作成・公開を行いました。

- ・国際会議
 Iio, J., Hasegawa, A., Iizuka, S., Hayakawa, S., Tsujioka, H. (2022)
 Ethical Guidelines for Human-Centered Design Activities,
 Vesa Salminen (eds) Human Factors, Business Management and Society.
 AHFE (2022) International Conference. AHFE Open Access, Vol 56.
 pp. 218–222, AHFE International, USA., New York & Online.

2023年度には、より業界全体を巻き込んで議論を行い、発展させるため、体制の強化を図ることを計画しています。

ウェブワーキンググループ

ウェブワーキンググループは、理事長直下の組織として事務局と密に連携し、HCD-Netのウェブサイトおよびソーシャルメディアの運用を統括しています。ITやウェブ制作に豊かな知見を持つメンバーが参加し、ウェブサイトおよびソーシャルメディアの全体最適化を進めています。ウェブサイトのスマートフォン対応、レガシー化したインフラのモダン環境への移行、Slack活用によるHCD-Net運用のインフラ整備などをこれまでの数年間で進めてきました。

HCD-Netの公式ウェブサイトは、前回のリニューアルから5年以上が経過しており、サイト構造が現在のHCD-Netの運用に合わなくなってきていることや、CMS(コンテンツ管理システム)の老朽化が課題になっています。2022年度は、ウェブワーキンググループが推進役となり、ウェブサイトの基盤システムの入れ替え、サイト構造の刷新を実施しました。



HCD-Net のウェブサイト



イベント一覧

2022年度は、新型コロナウイルスの影響が落ち着き始めたこともあり、対面式のイベントも徐々に増えてきました。昨年度同様のオンライン限定にとどまらず、対面とオンラインでのハイブリッド形式も含めて、それぞれの利点を活かしたイベントを開催しました。

4月

**「バター」で考える
HCD企業導入の成功と失敗**
2022年4月15日(金)
寺村信介(株式会社リコー)
伊東昌子(成城大学経済研究所)
主催: HCD-Netビジネス支援事業部

BtoBでグイグイいくための
裏側のUXデザイン

2022年4月25日(月)
三宅智子(三菱ふそうトラック・バス株式会社)
モデレーター: 森川裕美
主催: HCD-Net教育事業部

5月

**様々な職業の人と語る会
第10回: アートプロデューサー**
2022年5月19日(木)
高山健太郎(株式会社artness)
主催: HCD-Net関西支部

「利用時品質」メトリクス開発ワーク
ショップシリーズ2022「DXを適切
に実装するためのUIデザイン評価

2022年5月25日(水)、26日(木)
平沢尚毅(小樽商科大学)
福住伸一(理化学研究所革新知能統合研究センター/東京国立大学)
主催: HCD-Netビジネス事業支援部

6月

2022年度春季HCD研究発表会

2022年6月4日(土)
飯尾淳(中央大学)
大崎理乃(武蔵野大学)
田丸恵理子(武蔵野大学)
西村歩(株式会社MIMIGURI/東京大学大学院情報学環)
安斎勇樹(株式会社MIMIGURI/東京大学大学院情報学環)
和泉裕之(株式会社MIMIGURI)
東南裕美(株式会社MIMIGURI/立教大学大学院経営学研究所)
高橋祥(株式会社U'eyesDesign)
竹中薫(株式会社U'eyesDesign)
渋谷友紀(札幌市立大学デザイン研究科)
安藤利典(札幌市立大学)
大草真弓(成安造形大学)
川本健太(トッパン・フォームズ株式会社)
指澤竜也(トッパン・フォームズ株式会社)
樋口みなみ(トッパン・フォームズ株式会社)
友居裕也(中央大学)
佐久間史也(中央大学)
松崎たお(中央大学)
華垣恭(中央大学)
徳永弘子(理化学研究所)
井原雅行(理化学研究所)
村上宏樹(白川病院)
竹下一樹(白川病院)
猿渡進平(理化学研究所/白川病院)
古賀昭彦(理化学研究所/帝京大学)
行平崇(理化学研究所/帝京大学)
久野真矢(理化学研究所/県立広島大学)
中島知巳(理化学研究所/やまなみ介護生活)
後藤裕基(理化学研究所/明輝会)
梅崎優貴(理化学研究所/親仁会)
漆崎和平(横河電機株式会社)
小林横(横河電機株式会社)
松浦健太郎(横河電機株式会社)
高野礼子(横河電機株式会社)
山田菊子(東京工業大学 環境・社会理工学院)
宮川要由(京都大学レジリエンス実践ユニット)
飯尾直人(国土交通省 北海道開発局)
奈良遼太(国土交通省 北海道開発局)
伊藤学(国土交通省 北海道開発局)
米田真依(武蔵野美術大学)
神尾雅史(武蔵野美術大学)
長谷川敦士(武蔵野美術大学/株式会社コンセプト)
高広白彦(社会情報大学院大学コミュニケーションデザイン研究科)
飯塚重善(神奈川大学)
早川誠二(人間中心設計 必ずず相談)
辻岡啓司
福住伸一(理化学研究所革新知能統合研究センター)
主催: HCD-Net研究事業部

**JIS Z 8520
「インタラクションの原則」発行記念セミナー**
2022年6月22日(水)
三樹弘之(沖コンサルティングソリューションズ株式会社)
主催: HCD-Netビジネス支援事業部
共催: 一般社団法人日本人間工学学会 JENC

7月

**【出版おめでとう!】HCD-Net
AWARD 2019 最優秀賞受賞の
「動機のデザイン」オンライントーク
イベント**
2022年7月16日(土)
〈第1部:『動機のデザイン』の現場での活
かし方〉
由井真波
聞き手: 堀口麻奈(株式会社エムティーアイ)
〈第2部: HCD-Net AWARD 2019 最優
秀賞受賞から書籍の出版までの裏話〉
由井真波
聞き手: 尾崎真紀子(株式会社フランジ)
「本日のグラレコお披露目&デザイナーから
見た『動機のデザイン』」
グラレコ: 望月琴未
主催: HCD-Net 広報社会化学事業部

第11回 利用時品質談話会
「感性を測る」

2022年7月27日(水)
「ダイアログの目指すところと適用
事例ならびに現在の取組み」
大富浩一(Ohtomi Design Lab.)
「デザイン心理学による付加価値の創造～
Evidence based designの重要性」
日比野治雄(千葉大学)
「顧客の言葉にならない声を紐解き、新た
なマーケティングを科学する(デザイン心
理学 事例紹介)」
日比野好恵(株式会社BBSTONEデザイン心理学研究所)
主催: HCD-Netビジネス支援事業部

第81回HCD-Netサロン 出版記念
「組織を芯からアジャイルにする」

2022年7月29日(金)
山谷聡啓(株式会社リコー/株式会社レッドジャーニー)
長谷川恭久
安橋津友香
脇阪善則(パナソニック株式会社)
主催: HCD-Net広報社会化学事業部

8月

UXデザイン連続セミナー

2022年8月6日(土)
第1回セミナー「価値探索のためのデザ
イン・リサーチ概論」
2022年8月20日(土)
第2回セミナー「デフスインタビューを用
いた価値探索～価値抽出」
2022年9月4日(日)
第3回セミナー「価値の構造化とペルソナ
デザイン」
2022年9月17日(土)
第4回セミナー「ユーザー体験の俯瞰的
可視化によるアイデア発想法」
2022年10月1日(土)
第5回セミナー「キーマンメントの策定→
具体化とアイデアの拡張発想」
2022年10月15日(土)
第6回セミナー「プロトタイプングによるエ
バリュエーション手法」
井登友一(株式会社インフォバーン)
主催: HCD-Net教育事業部

9月

**HCD-Net関西フォーラム2022「HCD
再考: 製品・サービスの改善から経験価値
創出へ。そして、企業の経験価値向上へ。」**
2022年9月3日(土)
「価値を発見し、カタチに落とし込む超速
デザインスプリントのワークショップ」
福武徹
「HCD再考: サービスデザイン思考を通して
人間中心デザインの今とこれからを考える」
井登友一(株式会社インフォバーン)
「人間中心設計プロセス導入のためのノウ
ハウ」
水本徹
「HCD価値の全社員教育の時代: HCDマネジ
メントから人間中心のデザインマネジメントへ」
篠原稔和(理事/ソシオメディア株式会社)
「バネレディスカッション」
篠原稔和(理事/ソシオメディア株式会社)
水本徹
河野泉(日本電気株式会社)
主催: HCD-Net関西支部

合宿形式で学ぶ、
写真KJ法ワークショップ

2022年9月12日(月)、13日(火)、14日(水)
園藤達(北陸先端科学技術大学院大学)
水本徹
主催: HCD-Net関西支部

10月

“教科書”の著者らが答える!
「ユーザーインタビュー」のまよまよ
なんでも相談会

2022年10月13日(木)
奥泉直子
山崎真湖人(慶應義塾大学大学院)
三澤直加(株式会社グラグリッド)
古田一義
伊藤英明(株式会社ヴァル研究所)
主催: HCD-Net関西支部

情報デザイン教育シンポジウム

2022年10月22日(土)
「HCD視点で行う文化祭の情報デザイン」
鎌田高徳(神奈川県立横浜国際高等学校)
「デザイン思考で取り組む情報デザインのPBL」
須藤祥代(千代田区立九段中等教育学校)
「1年間の締めくくりこそ、『情報デザイン』」
武善部之(私立日出学園中学校・高等学校)
「芸術系学部における情報デザイン教育」
安武伸朗(常葉大学)
「ノンデザイン系学部でのデザイン教育実践」
飯塚重善(神奈川大学)
主催: 神奈川県高等学校教科研究会情報部
HCD-Net

2022年度 認定人間中心設計専門
家・スペシャリスト受験を目指す方向
け「オンライン相談会」

2022年10月24日(月)、11月14日(月)
主催: HCD-Net HCD専門資格認定センター

デジタルの日賛同イベント
『チカラを抜いたデザイン』

2022年10月24日(月)
森一貴
明岡隆(株式会社MIMIGURI)
大橋正司(サイフォン合同会社)
主催: HCD-Net
一般社団法人 人間中心社会共創機構(HCS共創機構)

11月

HCDコンピタンス知識編
「専門知識に基づく評価・概論」

2022年11月15日(火)
伊藤泰久(DN Technology & Innovation株式会社)
主催: HCD-Net教育事業部

EdgeTech+ 2022 パシフィック横浜

2022年11月16日(水)
「政府調達におけるデザインプロセスの導
入の取り組みについて」
大橋正司(デジタル庁)
2022年11月17日(木)
「経験価値志向の人間中心設計(HCD):
すべての人にHCDの基礎知識とマインド
セットを」
伊東昌
2022年11月18日(金)
「テクノロジーの社会実装を実現するため
のHCDマネジメント」
篠原稔和(理事/ソシオメディア株式会社)
「人間中心デザインを活用したDX事例」
平沢尚毅(小樽商科大学)
主催: 一般社団法人組み込みシステム技術協会

2022年度HCD認定試験受験者説明会

2022年11月21日(月)
主催: HCD-Net HCD専門資格認定センター

子供の『発想力』を鍛えるデザイン
ワークショップ! ~星空冒険たいさく
せん宇宙飛行士になるう! ~

2022年11月23日(水)
主催: 大阪芸術大学デザイン学科こどもデザインプロジェクトチーム
共催: HCD-Net関西支部
大阪芸術大学未来創造デザイン研究会

2022年度冬季HCD研究発表会

2022年11月26日(土)
日下部茂(長崎県立大学)
有田大作(長崎県立大学)
小林正(名古屋国際工科大学専門職大学)
指澤竜也(トッパン・フォームズ株式会社)
木村淳哉(芝浦工業大学大学院)
島泰代(株式会社オリエントコーポレーション)
吉武良治(芝浦工業大学)
大橋一輝(トッパン・フォームズ株式会社)
川本健太(トッパン・フォームズ株式会社)
幸島光彦(東海大学)
細山太智(東海大学)
村岡詩織(九州大学大学院)
平井康之(九州大学大学院)
近藤剛(鹿児島女子短期大学)
伊勢村怜(中央大学)
松本成雄(中央大学)
飯尾淳(中央大学)
寺村信介(株式会社リコー)
安藤昌也(千葉工業大学)
山崎和彦(武蔵野美術大学/Mデザイン研究所)
福田歩美(芝浦工業大学)
北城満理奈(芝浦工業大学)
門脇敏太(芝浦工業大学)
菊池爽也(芝浦工業大学)
藤原晴彦(株式会社U'eyes Design)
徳田実玖(和歌山大学)
河村匠馬(和歌山大学)
松延拓生(和歌山大学)
橋本泉奈(和歌山大学)
嶋原百香(和歌山大学)
小笠原樹(東京工科大学)
細野京(東京工科大学)
新名さくら(武蔵野美術大学)
中井南奈(武蔵野美術大学)
江森卓太(武蔵野美術大学)
江木史子(武蔵野美術大学)
長谷川敦士(武蔵野美術大学)
木南俊樹(芝浦工業大学)
安達澄(武蔵野美術大学)
富田豪(武蔵野美術大学)
中村碧志(武蔵野美術大学)
福原稔也(武蔵野美術大学)
小山田 那由他(株式会社コンセプト)
大塚愛子(株式会社リコー)
川口敦生(株式会社リコー)
津上ユリアン(中央大学)
中島桂太(中央大学)

イベント一覧

只野日向子(中央大学)
 鐘宇恒(中央大学)
 山田菊子(東京工業大学)
 齋宮乃(パシフィックコンサルタンツ株式会社)
 日下部貴彦(東京大学/緊急取組ホールディングス株式会社)
 三谷卓摩(愛媛大学)
 柳沼秀樹(東京理科大学)
 海野遥香(東京理科大学)
 荒居祐紀(株式会社日本総合研究所)
 小山一輝(株式会社日本総合研究所)
 福山篤史(株式会社日本総合研究所)
 近藤剛(鹿児島女子短期大学)
 飯塚宏(株式会社日立ドキュメントソリューションズ)
 主催: HCD-Net 研究事業部

12月

HCD-Netフォーラム2022

2022年12月2日(金)
「基調講演①人間性と合理性を止揚する医療DXの取組み」
 宮田芳郎(ファストドクター株式会社)
「オープニングセッション」
 篠原稔和(理事長/ソシオメディア株式会社)
 菅井千尋(ソニーグループ株式会社)
 助松裕一(株式会社セルスフォース・ジャパン)
 徳田彩(ネットイヤーグループ株式会社)
 飯塚重善(神奈川大学)
「基調講演②メタバースに生きる新人類との付き合い方」
 バーチャル美少女ねむ
 2022年12月3日(土)
「企画セッション①株式会社バウワウ『事業開発の現場における「デザイン領域」や「デザイン人材の役割」の変化 デザイン人材の「スキル」・「マインド」・「哲学・価値観」 「養育環境」について篠原理事長との対話を通して今後の方向性を探る」
 石村雅雄(株式会社バウワウ)
 篠原稔和(理事長/ソシオメディア株式会社)
「企画セッション②デジタル庁「やさしいサービスをすばやく届けるデザインシステムの取り組み・デジタル庁におけるサービスデザインの普及に向けた取り組み」
 大橋正司(デジタル庁)
 神園千鶴(デジタル庁)
「企画セッション③HITOTOWA INC.『ネイバーフッドデザインとは何か』
 荒島昌史(HITOTOWA INC.)
「スペシャルセッション 見華学園『グローバルから「ローカル」へ、啓発から「行動」へ』
 長岡仰太郎(見華学園中学校高等学校)
 佐藤駿介(見華学園中学校高等学校)
 主催: HCD-Net

エキスパートレビュー～ユーザビリティの専門知識に基づく評価を学ぶ～

2022年12月6日(火)
「『原則』解説編」
 2022年12月17日(土)
「演習編」
 伊藤泰久(DN Technology & Innovation株式会社)
 主催: HCD-Net 教育事業部

みんなでHCDについて話そう！HCDに関することならなんでもOK！

2022年12月7日(水)
「中・長期的なアウトカムを重視したデザインを、どのように進めればよいのか？」
 伊藤泰久(DN Technology & Innovation株式会社)
「X Wisdom for food -『食の多様な価値の開放』と『食に起因する社会課題の解決』に向けた、教習結合型イノベーションプログラムの紹介」
 島威一郎(株式会社シグマクス)
「医療機器の使い手統一に向けた取り組み」
 古株健人(シスメックス株式会社)
「活動事例紹介 doda 転職フェアオンライン」
 松屋有紀(パーソルキャリア株式会社)
「人間中心な観光DX推進について」
 山本成一(株式会社リゴ)

「社内活動(イベント企画、女性活躍推進、社内広報)でHCD活用してみた」
 酒井美彩部(TDCソフト株式会社)
 主催: HCD-Net 広報社会事業部

子供の『発想力』を鍛えるデザインワークショップ！～お家へ届け！びよんびよん大作戦～

2022年12月11日(日)
 主催: 大阪芸術大学 デザイン学科 こどもデザインプロジェクトチーム
 共催: HCD-Net 関西支部
 大阪芸術大学 未来創造デザイン研究会

JIS Z 8522 「情報提示の原則」発行記念セミナー

2022年12月20日(火)
 福住伸一(理化学研究所)
 主催: HCD-Net ビジネス支援事業部

1月

EdgeTech+ 2022 オンデマンド配信

2023年1月16日(月)・23日(月)・10日(金)
「政府調達におけるデザインプロセスの導入の取り組みについて」
 大橋正司(デジタル庁)
「経験価値志向の人間中心設計(HCD): すべての人にHCDの基礎知識とマインドセットを」
 伊東昌子(人間中心社会共創機構)
「テクノロジーの社会実装を実現するためのHCDマネジメント」
 篠原稔和(理事長/ソシオメディア株式会社)
「人間中心デザインを活用したDX事例」
 平沢尚毅(小樽商科大学)
 主催: 一般社団法人組込みシステム技術協会

DX(デジタル時代)における Human AI Interaction を考える～自動運転社会におけるHAI検討委員会成果報告～

2023年1月11日(水)
「第一部: 第1期 3年間の活動成果報告」
 吉武良治(芝浦工業大学)
 平沢尚毅(小樽商科大学)
 福住伸一(理化学研究所)
 吉田直可(法律事務所宏岩山)
「第二部: 『自動運転“地域DX”コンソーシアム』構想紹介」
 白坂成功(慶應義塾大学大学院)
 田丸喜一郎(独立行政法人情報処理推進機構)
 梶尾龍之介(BOLDLY株式会社)
「改發社(パナソニックホールディングス株式会社) 鱈原晴彦(株式会社U'eyes Design) 「第三部: 第2期 中期計画概要説明」
 吉武良治(芝浦工業大学)
 平沢尚毅(小樽商科大学)
 仲谷尚郎(三菱重工工業株式会社)
 山谷知之(株式会社ぶらすU.)
 山口恒久(株式会社明電舎)
 主催: HCD-Net ビジネス支援事業部

ビジョンとクオリティ～HCD事例発表会 + Future Experience(FX)フォーラム～

2023年1月13日(金)
「発表①体験設計のテーマ創出と社会実装～ビジョンデザインのクオリティはテーマ設定と社会実装から～」
 高橋克夫(株式会社アイト/一社型個人職設計コンソシアム)
「発表②ビジョンの評価～描かれたビジョンに善し悪しはあるのか～」
 早川誠二(HCD YOROZU Consulting)
 郷健太郎(山梨大学)
「発表③ビジョンづくりから社会実装への実践的なやり方～社会実装できるクオリティを創る伴走プロセスや手法について～」
 上田義弘(y2.Design Consulting)

「発表④ビジョンと社会実装」
 山崎和彦(武蔵野美術大学/Xデザイン研究所)
「事例①ソフトウェアテストエンジニアが実施するユーザビリティ評価」
 蛭田恭章(株式会社ベリサーチ)
「事例②ユーザビリティ・UX評価における視線計測と脳波計測の実践と今後の可能性」
 指澤竜也(トッパン・フォームズ株式会社)
 落合俊行(トッパン・フォームズ株式会社)
「事例③『インタラクションの原則』を用いたエキスパートレビュー演習プログラムの開発」
 伊藤泰久(DN Technology & Innovation株式会社)
 和井田理科
 花井陽子
 松浦啓
 角田和美
 井上亜津奈
「事例④ユーザビリティ評価における環境再現の取り組み」
 吉見邦子(株式会社島津製作所)
 主催: HCD-Net 関西支部
 共催: 日本人間工学学会アゴデザイン部会

2月

UXデザイン連続セミナー座談会

2023年2月5日(日)
 主催: HCD-Net 教育事業部

「HCD - 人間中心設計」入門

2023年2月14日(火)
「『HCD-人間中心設計』入門セミナー」
 河野泉(神戸親和女子大学)
 主催: HCD-Net 教育事業部

HCDビジネスシンポジウム2023

2023年2月21日(火)
「デジタル技術が創る人間中心の新しい社会～Society 5.0を実現するためのポイント～」
 白坂成功(慶應義塾大学大学院)
「経営戦略に活かすための『人間中心のデザインマネジメント』」
 篠原稔和(理事長/ソシオメディア株式会社)
「新しいあたりまえを生み出すデザイン経営 ～スタートアップ経営者のマネジメント～」
 天沼聰(株式会社エアーローゼット)
「ライオンが取り組む『習慣の科学』」
 黒川博史(ライオン株式会社)
「DX4象限と外部化で『社会の大丈夫をつくっていく。』を実現するOKIのDX戦略」
 坪井正志(沖電気工業株式会社)
「パネルディスカッション」
 白坂成功(慶應義塾大学大学院)
 篠原稔和(理事長/ソシオメディア株式会社)
 天沼聰(株式会社エアーローゼット)
 黒川博史(ライオン株式会社)
 坪井正志(沖電気工業株式会社)
 モデレーター: 平沢尚毅(小樽商科大学)
 主催: HCD-Net ビジネス支援事業部

3月

現場でできるユーザビリティテスト入門

2023年3月3日(金)
 下郷雅子(株式会社リコー)
 主催: HCD-Net 教育事業部

出版記念イベント: 人間中心設計の実践者が知っておくべき“人を扱う工学研究の倫理”を事例から学ぶ

2023年3月14日(火)
 福住伸一(理化学研究所/東京立大学)
 主催: HCD-Net ビジネス支援事業部

IAのお仕事～Information Architectureって何をするの?～

2023年3月17日(金)
 森田雄(株式会社ツルカメ)
 主催: HCD-Net 教育事業部

みんなでHCDについて話そう！HCDに関することならなんでもOK！ 第2弾

2023年3月22日(水)
「動機的设计」
 由井真波(成安造形大学)
「プロダクトと組織の成長の道筋を描く『プロダクトデザイン壁打ちサービス』ができるまで」
 村上雄太郎(株式会社ゆめみ)
「デジタルアーカイブは誰のもの? - GLAMの情報環境設計へのHCD適用」
 大坪逸貴(サイフォン合同会社)
「プロダクト開発における『学習を最大化』とは?」
 吉川嘉修(富士通株式会社)
「初心者でも簡単に体験! 5分インタビュート分析ワークショップ」
 桑名のどか(TDCソフト株式会社)
 主催: HCD-Net 広報社会事業部

ピックアップイベント

● 合宿形式で学ぶ、写真KJ法ワークショップ

<開催日程>：2022年9月12日(月)、13日(火)、14日(水)

30名程の参加メンバーと、ワークショップを行いながら写真KJ法を学ぶ、合宿形式のセミナーを実施しました。創造的な問題解決を必要とするシーンとして、青森県弘前市(日本一の桜とりんごのまち)の観光業・宿泊業を想定しながら、実際にフィールドワークにより撮影された写真を元にワークショップを実施しました。

※：詳細はサイトをご覧ください

HCD-Net 関西支部 主催 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1904.html>



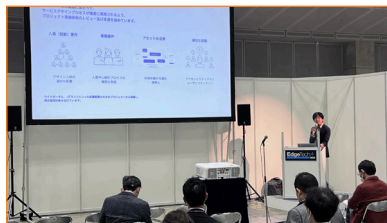
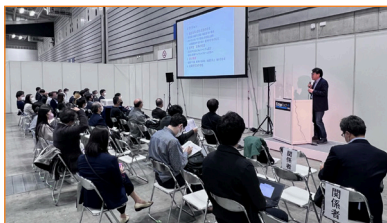
● EdgeTech+ 2022 パシフィコ横浜

<開催日程>：2022年11月16日(水)、17日(木)、18日(金)

事業変革を推進するための最新技術とつながる総合展「EdgeTech+ 2022」にて、4名の講演者によるHCDマネジメントに関する講演を実施しました。「事業変革のためのキーワード+応用産業分野への実装」を成立させるリスキリングには「HCDのマネジメント」が欠かせないことをメインテーマに、各講演者がそれぞれの内容で講演しました。

※：詳細はサイトをご覧ください

一般社団法人組込みシステム技術協会 主催 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1968.html>



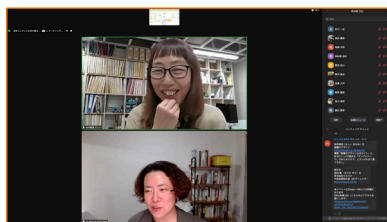
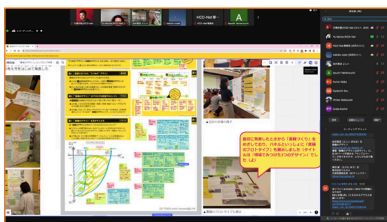
● みんなでHCDについて話そう！HCDに関することならなんでもOK！

<開催日程>：2022年12月7日(水)、2023年3月22日(水)

「HCDについて考えていること・取り組んでいること・相談したいこと」をコンセプトとして、多くの人がつながるキッカケを創出できる場として、Zoom × Miroを使ったイベントを開催しました。自らのHCDの活用事例やアクティビティを発表し、感想・意見を求めたい方、活動の仲間を募集したい方などに向けてショート・プレゼンテーションの場を用意しました。

※：詳細はサイトをご覧ください

HCD-Net 広報社会化事業部 主催 <https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1943.html>
<https://www.hcdnet.org/hcd/event/entry-1987.html>



決算報告

2022年度 活動計算書（その他事業がない場合）

書式第13号(法第28条関係)

科 目	金 額 (円)	小 計・合 計 (円)
【A】 経 常 収 益		
1 受取会費		
正会員受取会費	13,215,000	
賛助会員受取会費	4,440,000	
学生会員受取会費	10,000	17,665,000
2 受取寄附金		
	5,400	5,400
3 受取助成金等		
	81,000	81,000
4 事業収益		
調査・研究事業収益	911,000	
人材育成事業収益	5,018,000	
普及・啓発事業収益	2,205,500	
開発事業収益	1,921,000	
規格化・認証事業収益	13,217,000	
国際事業収益	0	23,272,500
5 その他の収益		
受取利息	412	
雑収入	6,577	6,989
経 常 収 益 計		41,030,889
【B】 経 常 費 用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	4,044,475	
法定福利費	0	
福利厚生費	0	4,044,475
(2) その他経費		
外注費	1,343,622	
運営費	844,895	
支払手数料	463,025	
広報費	0	
旅費交通費	383,060	
通信運搬費	280,339	
消耗品費	500,594	
印刷製本費	211,643	
会議費	54,800	
諸謝金	7,359,328	
租税公課	1,287,127	
図書費	362,780	
雑費	199,096	13,290,309
事業費計		17,334,784
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	6,912,480	
法定福利費	1,304,709	
福利厚生費	17,011	8,234,200
(2) その他経費		
支払手数料	317,817	
会議費	19,149	
旅費交通費	49,274	
通信運搬費	707,691	
消耗品費	92,490	
印刷製本費	10,159	
賃借料	18,480	
諸謝金	75,568	
租税公課	2,023	
委託費	2,537,589	
雑費	970,925	4,801,165
管理費計		13,035,365
経 常 費 用 計		30,370,149
当 期 経 常 増 減 額 【A】-【B】・・・①		10,660,740
【C】 経 常 外 収 益		
	0	
経 常 外 収 益 計		0
【D】 経 常 外 費 用		
	0	
経 常 外 費 用 計		0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】-【D】・・・②		0
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+②・・・③		10,660,740
法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤		35,530,367
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③-④+⑤		46,121,107

2022年度 計算書類の注記

書式第16号(法第28条関係)

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準 によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産は個別法によって評価しています。
- (2) 消費税等の会計処理
税込処理を行なっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科 目	調査・研究 事業	人材育成 事業	普及・啓発 事業	開発事業	規格化・認証 事業	国際事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	17,665,000	17,665,000
2. 受取寄附金	0	0	0	5,400	0	0	5,400	0	5,400
3. 受取助成金等	0	0	81,000	0	0	0	81,000	0	81,000
4. 事業収益	911,000	5,018,000	2,205,500	1,921,000	13,217,000	0	23,272,500	0	23,272,500
5. その他収益	0	0	0	0	0	0	6,989	0	6,989
経常収益計	911,000	5,018,000	2,286,500	1,926,400	13,217,000	0	23,365,889	17,665,000	41,030,889
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	80,108	0	30,081	0	3,934,286	0	4,044,475	6,912,480	10,956,955
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	1,304,709	1,304,709
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	17,011	17,011
人件費計	80,108	0	30,081	0	3,934,286	0	4,044,475	8,234,200	12,278,675
(2) その他経費									
外注費	0	0	598,800	216,360	528,462	0	1,343,622	0	1,343,622
運営費	12,300	0	760,595	72,000	0	0	844,895	0	844,895
支払手数料	66,286	165,833	98,217	132,689	0	0	463,025	317,817	780,842
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	4,236	0	246,584	132,240	0	0	383,060	49,274	432,334
通信運搬費	8,293	22,110	105,256	0	144,680	0	280,339	707,691	988,030
消耗品費	8,436	0	19,334	0	472,824	0	500,594	92,490	593,084
印刷製本費	19,913	0	0	0	191,730	0	211,643	10,159	221,802
会議費	0	0	22,350	32,450	0	0	54,800	19,149	73,949
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	18,480	18,480
諸謝金	22,970	2,408,548	952,780	806,152	3,168,878	0	7,359,328	75,568	7,434,896
租税公課	51,459	283,449	97,128	108,510	816,581	0	1,357,127	2,023	1,359,150
図書費	0	0	0	362,780	0	0	362,780	0	362,780
寄付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	2,537,589	2,537,589
雑費	0	0	199,096	0	0	0	199,096	970,925	1,170,021
その他経費計	193,893	2,879,940	3,100,140	1,863,181	5,323,155	0	13,360,309	4,801,165	18,161,474
経常費用計	274,001	2,879,940	3,130,221	1,863,181	9,257,441	0	17,404,784	13,035,365	30,440,149
当期経常増減額	636,999	2,138,060	△ 843,721	63,219	3,959,559	0	5,961,105	4,629,635	10,590,740

3. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、事務局員の給料手当、交通費については従事割合に基づき按分しています。

2022年度 貸借対照表

書式第15号(法第28条関係)

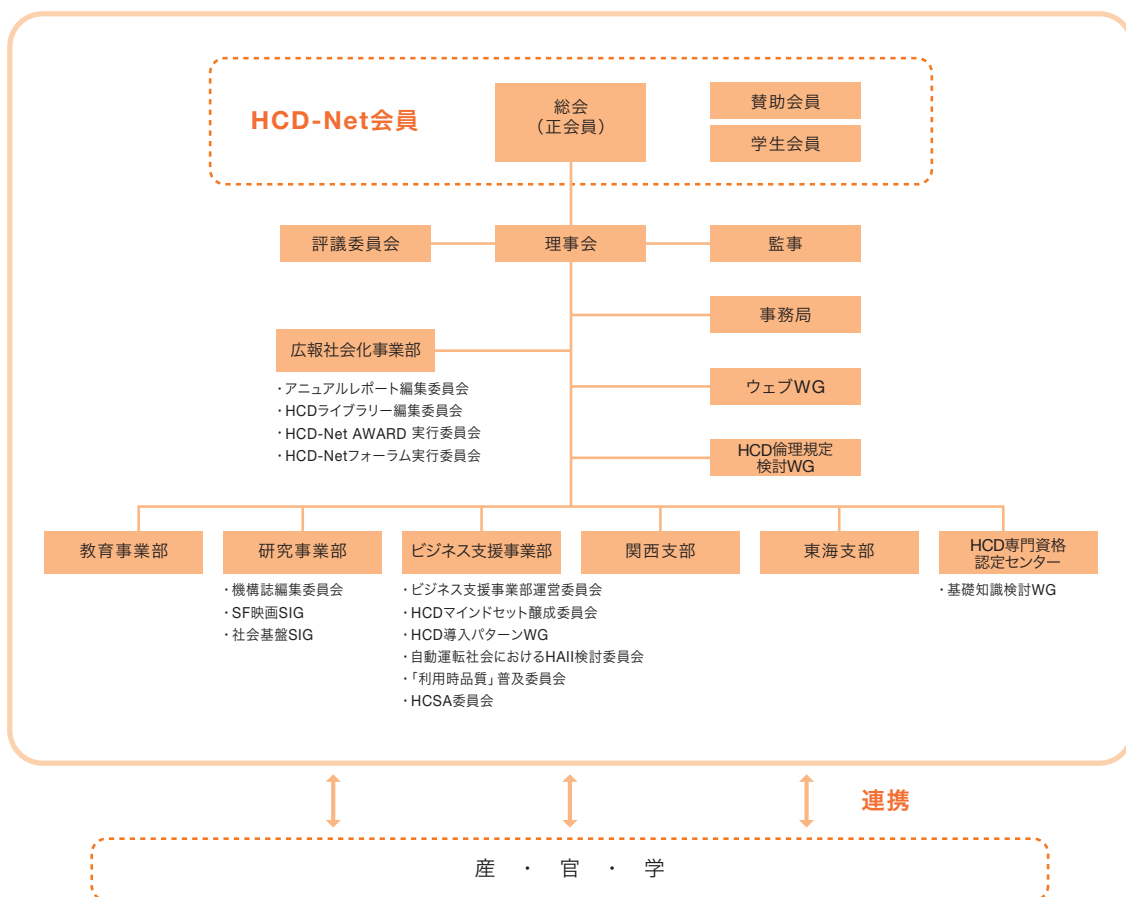
科 目	金 額 (円)	小 計・合 計 (円)
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	50,591,303	
未収金	3,779,370	
貯蔵品	63,858	
流動資産合計・・・①		54,434,531
2 固定資産		
(1) 有形固定資産	0	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産	0	
固定資産合計・・・②		0
【A】 資 産 合 計 ①+②		54,434,531
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
未払金	7,380,146	
前受金	753,000	
預り金	170,278	
仮受金	10,000	
流動負債合計・・・③		8,313,424
2 固定負債		
	0	
固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④		8,313,424
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額	35,530,367	
当期正味財産増減額	10,590,740	
正 味 財 産 合 計		46,121,107
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】+【B-2】		54,434,531

2022年度 財産目録

書式第17号(法第28条関係)

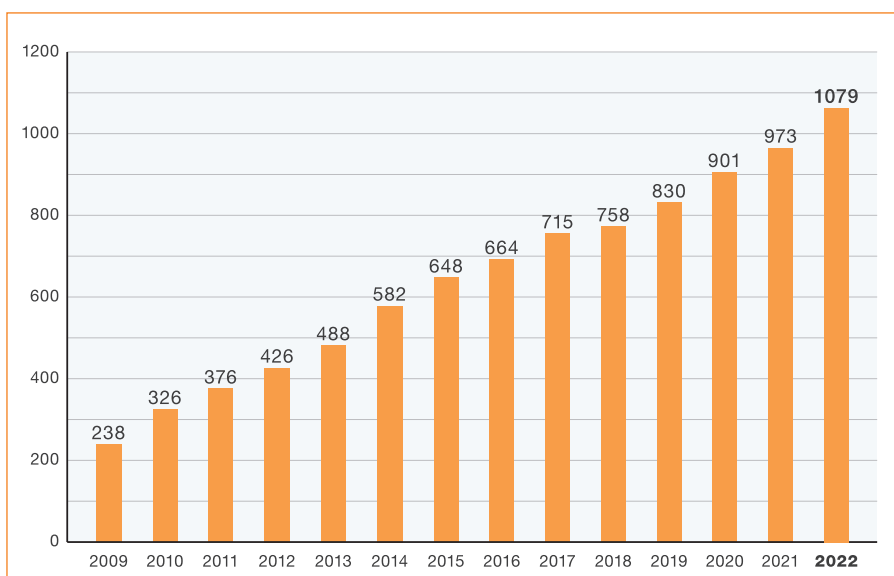
科 目	金 額 (円)	小 計 (円)	合 計 (円)
【A】 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金 三菱東京 UFJ 銀行渋谷支店	50,395,512		
Paypal 口座	54,452		
普通預金 三井住友銀行神田支店	141,339	50,591,303	
未収金			
規格化・認証事業未収金	3,779,370	3,779,370	
貯蔵品			
総合パンフレット	13,351		
フォーラム景品	45,000		
機構誌	5,507	63,858	
流動資産合計・・・①			54,434,531
2 固定資産			
(1) 有形固定資産		0	
(2) 無形固定資産		0	
(3) 投資その他の資産		0	
固定資産合計・・・②			0
【A】 資 産 合 計 ①+②			54,434,531
【B-1】 負 債 の 部			
1 流動負債			
未払金			
3月分給与	910,924		
活動謝金	2,842,016		
認定証作成・発送費	626,205		
業務委託費	1,216,600		
未払消費税等	790,100		
未払法人税等	70,000		
諸口	924,301	7,380,146	
前受金			
2023年・2024年・2025年資格維持費	753,000	753,000	
預り金			
源泉所得税	124,878		
住民税	45,400	170,278	
仮受金			
会員入金	10,000	10,000	
流動負債合計・・・③			8,313,424
2 固定負債			
	0	0	
固定負債合計・・・④			0
【B-1】 負 債 合 計 ③+④			8,313,424
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】-【B-1】			46,121,107

組織図



各事業部・センター・支部の委員一覧はこちら <https://www.hcdnet.org/organization/organization/hcd-975.html>

正会員数推移



役員一覧

理事長：	篠原 稔和 (ソシオメディア株式会社)	監事：	早川 誠二 (HCD YOROZU Consulting) 山岡 俊樹 (和歌山大学)
副理事長：	井登 友一 (株式会社インフォバーン) 長谷川 敦士 (株式会社コンセント) 水本 徹 (株式会社島津製作所) 吉武 良治 (芝浦工業大学)	【事務局】	
理事：	飯尾 淳 (中央大学) 飯塚 重善 (神奈川大学) 加藤 公一 (ブラザー工業株式会社) 河野 泉 (神戸親和大学) 羽山 祥樹 (日本ウェブデザイン株式会社) 森山 明宏 (ユーリカ株式会社) 山口 恒久 (株式会社明電舎) 山田 菊子 (株式会社ソーシャル・デザイナーズ・ベース) 和井田 理科 (株式会社JVCケンウッド・デザイン) 脇阪 善則 (パナソニック株式会社)	事務長：	中村 めぐみ
		認定センター事務長：	松本 恭幸
		財務担当：	篠原 稔和 (理事長)
		ウェブサイト担当：	羽山 祥樹

賛助会員一覧 五十音順 敬称略 (2023年3月31日現在)

アシアル株式会社	株式会社TAM
株式会社イード	株式会社ツルカメ
株式会社イセトー	株式会社デンソー
市光工業株式会社	株式会社電通
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会	株式会社電通国際情報サービス
株式会社インパス	株式会社電通デジタル
インフォコム株式会社	東京海上日動システムズ株式会社
株式会社エクサ	トッパン・フォームズ株式会社
SCSK株式会社	凸版印刷株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社	トビー・テクノロジー株式会社
株式会社NTTアド	日鉄ソリューションズ株式会社
株式会社NTTデータ	日鉄日立システムソリューションズ株式会社
株式会社NTTデータMSE	株式会社野村総合研究所
沖コンサルティングソリューションズ株式会社	株式会社パウワウ
株式会社オネスト	株式会社ファンリード
オムロン ヘルスケア株式会社	フェンリル株式会社
株式会社クボタ	富士ソフト株式会社
株式会社KDDI総合研究所	富士フイルム株式会社
コニカミノルタ株式会社	株式会社フライング・ペンギンズ
株式会社コンセント	ブラザー工業株式会社
サイフォン合同会社	株式会社ミツエーリンクス
サンデン株式会社	三菱総研DCS株式会社
シー・キュー・シー株式会社	三菱電機株式会社
株式会社JVCケンウッド・デザイン	村田機械株式会社
シスメックス株式会社	株式会社U'eyes Design
株式会社島津製作所	横河計測株式会社
スパイスファクトリー株式会社	株式会社リーサ
セイコーエプソン株式会社	理想科学工業株式会社
ソニーグループ株式会社	

アニュアルレポート実行委員会

編集長：	脇阪 善則 (パナソニック株式会社)
編集：	助松 裕一 (株式会社 セールスフォース・ジャパン) 森田 雄 (株式会社ツルカメ) 佐伯 幸治 (さらなる)
デザイン：	竹内 公啓 (PUBLIX DESIGN)

特定非営利活動法人 (NPO法人) 人間中心設計推進機構 事務局

〒162-0056 東京都新宿区若松町36-13
Modelia Colors 3F ソシオメディア株式会社内
e-mail: secretariat@hcdnet.org

www.hcdnet.org